

J-24

開発としての建築
池袋の過去と現在と未来を繋ぐ
Development Architecture
Connecting IKEBUKURO's past,present and future

佐藤 信治¹ ○青木 絵子²
 Shinji Sato¹ ○Eko Aoki²

Abstract: Ikebukuro station in Toshima Ward, Tokyo is a gigantic terminal station that is in line with Shinjuku and Shibuya. In addition, Ikebukuro is currently undergoing redevelopment as one of the most busy downtown areas in the city, and <The symbolic project of the international art and culture city> is overwhelmingly created by the eight theaters Toshima-ku We are aiming for an attractive and culturally attractive base in the redevelopment project of the former Government building site and its surroundings.

However, while having such a gorgeous aspect, Toshima Ward is designated as the only "disappearing possibility city" in 23 wards as women in their 20s and 30s decrease as population estimates in the future.

The reason is that the bad security and images are affecting us and I think that Toshima Ward needs not only development as entertainment but also development on the residential side that people want to live in peace of mind

1. はじめに

東京都豊島区にある池袋駅は新宿、渋谷と並ぶ巨大ターミナル駅である。また、池袋は都内有数の繁華街としての一面も持っている、さらに、現在、再開発が進としては、く8つの劇場が生み出す圧倒的なにぎわい「国際アート・カルチャー都市のシンボルプロジェクト」>が進められている。これは、豊島区旧庁舎跡地とその周辺の再開発事業で、魅力的かつ文化的なにぎわいの拠点を狙っているものである。

しかし、そのように華やかな一面を持つ一方で豊島区は、将来的な人口推計で 20~30 代女性が減少するとして 23 区で唯一「消滅可能性都市」に指定されている^{※1}。その理由としては治安の悪さが影響している。そこで、現在の豊島区には娯楽としての開発だけではなく、人々が安心して暮らしたくなるような住居面での開発も必要だと思われる。^[1]



Figure 1. Toshima Ward development Plan^[1]

2. 計画背景

現在の豊島区における住居地区における問題は大きく分けると2つあり、1つは治安の悪さ、もう1つは豊島区に多く存在する木造住宅密集地域(木密地域)である。

2.1. 木密地域

首都直下地震の切迫性や東日本大震災の発生を踏まえ、都民の生命と東京の都市機能を守るためにも早急な対策が必要と言える。

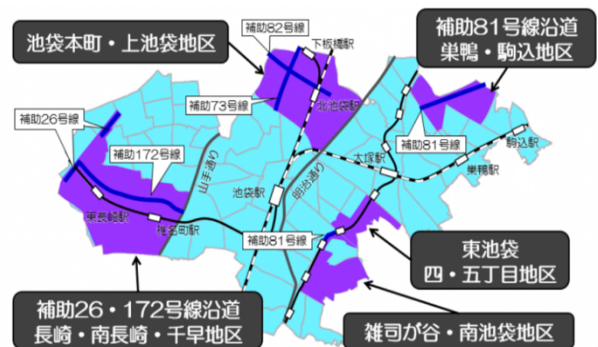


Figure 2. Thunder area map^[1]

2.2. 池袋の犯罪率

池袋は 23 区の中でも犯罪件数が高く、刑法犯発生件数(平成 26 年) : 6,017 件 犯罪発生率 : 2.22%と住民 45 人に 1 人が被害に遭う計算となっている。^[2]また、地域別の犯罪率のマップから駅の周辺に集中していることがわかる。

1 : 日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture & engineering, CST., Nihon-U.

2 : 日大理工・学部・海建 Department of Oceanic Architecture & engineering, CST., Nihon-U.

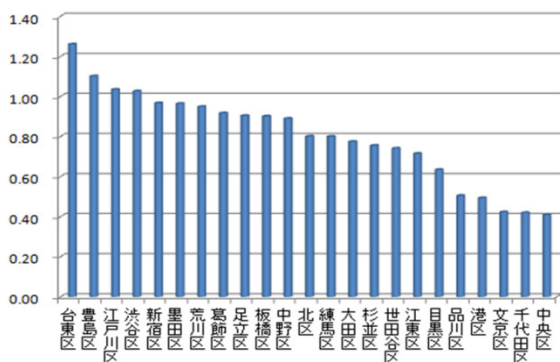


Table 1.23 district crime rate^[3]

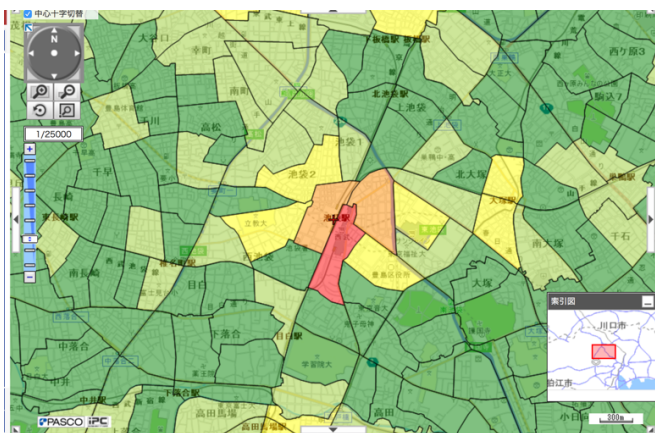


Figure 3. Tosima Ward crime rate^[4]

3. 計画地

現在の池袋の再開発計画と照らし合わせ、現在も大きな賑わいがあり、再開発計画も重点的に行われるサンシャイン通りを抜けた先の東池袋四、五丁目地区を敷地として剪定する。

この地域は木密地域として東京都の木密地域不燃化10年プロジェクトにも指定されている。



Figure 4. plan area^[1]

4. 基本計画

計画地は賑やかな通りを抜けた先の閑静な住宅地である。また、近くには豊島区立中央図書館などもあり、そのような環境を生かし木密状態を打破し、20～30代女性も安心して住めるような複合住居の提案防災、治安の観点から見通しのよい住居地区を目指す。

図[5]が現在の東池袋四、五丁目既存の木密地域であり、建物が密集している。現在の状態だと見通しも悪く火災などの災害にも弱い。

そこで、図[6]のように通路や水路を通し既存の住宅の密集を崩し、防災、治安の面の改善をする。

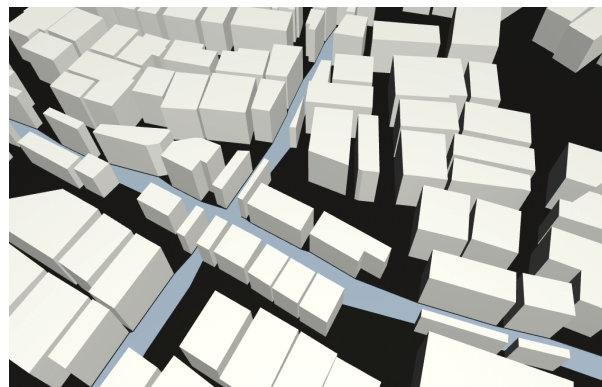


Figure 5. Current thunder area

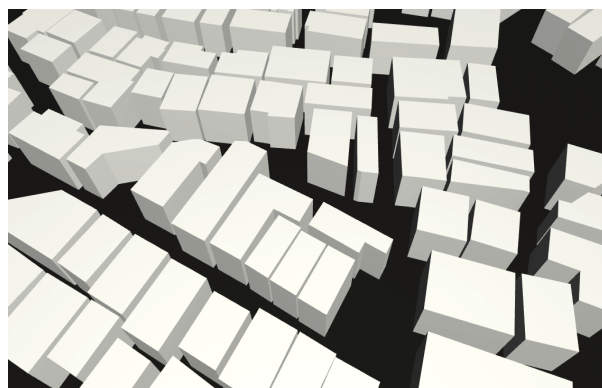


Figure 6. Pass through a waterway

5. 参考文献

※ 1 産経ニュース

www.sankei.com/smp/region/news/160212/rgn1602120060-s.html

[1] 豊島区 公式ホームページ

<http://www.city.toshima.lg.jp/024/kuse/project/030614.html>

[2] お部屋探し navi <http://sukkireroom.jp/2016/04/05/toshima/>

[3] 東京カレンダー 23区犯罪率 <https://tokyo-calendar.jp/article/6264>

[4] 警視庁 犯罪情報マップ

<http://www2.wagmap.jp/jouhomap/Portal>

[5] 池袋再開発情報 <https://downtownreport.net/area/池袋>